

八丈島での再エネ利用拡大における主要な検討課題及び検討方法について

■ 経 過

- 11月～2月 資源エネルギー庁補助事業による住民アンケート、
婦人会・高校生へのヒアリングなどの実施
- 2月1日 第1回検討委員会開催（検討の方向性確認）
- 3月、4月 地元住民、農業関係者との意見交換の実施

- 主要な検討課題を以下のとおり整理。
- 各課題を検討するワーキング・グループ(以下「ワーキング」)を本検討委員会に位置づけ
- 各ワーキングにおける検討状況を随時地元と情報共有し、その意見を反映させながら検討を推進

- 各ワーキングの検討結果を踏まえ、本検討委員会で事業スキーム(主体、資金調達、地元還元など)案の最終整理を図る。

■ 【検討課題 1】 事業実現可能性の精査

「実現可能性調査(フィジビリティスタディ/FS)」の実施、各検討ワーキングでの検討内容にも有機的に連動 …「第1ワーキング」で進行管理

- 主要地熱発電メーカー設備の性能、コスト、特性等の比較・検証
(フラッシュ発電/バイナリー発電など)
- 臭気など懸念事項の検討
…硫化水素による臭気やさびなどの対策を検証。別に、資源エネルギー庁「地熱開発理解促進関連事業支援補助金」を活用した実証試験の実施も検討
- 最適な系統安定化手法の比較・検証
…揚水発電、蓄電池などの系統安定化設備としての機能性の比較、コスト・安全性の精査
- 法令要求事項の整理、対応の検討
…自然保護条例開発許可など
- 派生的コスト(発電所土地取得、送配電線の増強など)を含めた事業収支の精査 など

■ 【検討課題 2】 電力の安定供給に及ぼす影響と対策等

「第2ワーキング」による検討

- 地熱発電拡大に伴う電力系統の運用に関する検討
…電力系統の周波数・電圧等に及ぼす影響を評価し、電力系統の安定運用に必要な対策等を検討
- 地熱等発電設備の運用方法・体制に関する検討

■ 【検討課題 3】 事業主体の検討

FS 及び事業者などへの個別ヒアリングも踏まえ、「第3ワーキング」で検討

- 地元利益をもたらす、安定的な事業執行を行える事業主体選定のためのルールの検討
…事業主体の構成の想定(地元事業者、設備メーカー、開発事業者等の民間事業者の参画の程度)を含む。
- 適切な地元利益を担保するための行政の役割、施策の検討 など

■ 【検討課題 4】 事業効果の地元還元策/関連事業の創出

FS 及び住民・事業者との意見交換も踏まえ、「第4ワーキング」で検討

- FS による事業収支などの精査を踏まえた取組の実現可能性の精査
- 先行実施可能な地熱の利用拡大のモデル事業の検討 など